

Rotary 

人類に奉仕するロータリー

2016-17

Vol. **11**



ROTARY  
SERVING  
HUMANITY

Governor's

Monthly Letter

*Rotary International District 2550*

国際ロータリー第2550地区

ガバナー月信

**5**月号 May



むらさき藤(足利フラワーパーク)

## contents

ロータリーレート/1\$=110円

- ★ ガバナーメッセージ…………… 1
- ★ 米山奨学生・米山カウンセラーオリエンテーション… 3
- ★ インターシティミーティング第8G…………… 4
- ★ インターシティミーティング第8G 講演 鈴木宏… 5
- ★ コーディネーターニュース…………… 6

- ★ ハイライトよねやま…………… 7
- ★ ロータリー文庫贈呈式・新入会員…………… 8
- ★ 第2550地区3月会員増強・出席報告… 9
- ★ インフォメーション



## ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

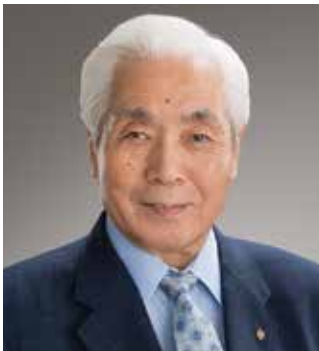
- 第1** 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2** 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3** ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること
- 第4** 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

## 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか
  - 2 みんなに公平か
  - 3 好意と友情を深めるか
  - 4 みんなのためになるかどうか
-

## ガバナーメッセージ



## 青少年奉仕と青少年保護について

2016—17年度  
国際ロータリー第2550地区ガバナー

とちぎひでまろ  
**栃木秀磨** [足利わたらせRC]

1923年、セントルイス国際大会で「善良で健全な市民を育てる」と決議され、青少年奉仕活動について討議されました。1949年RI理事会は「各ロータリアンは青少年の模範」という標語を採択し、ロータリアン自身が模範となり、青少年を育成する事を奨励しました。青少年への奉仕は長年に渡り、ロータリープログラムの重要な一部となっています。1954年にRI会長のハーバード・テラーは有名な「四つのテスト」と「青少年に対する奉仕」を掲げました。1960年代にはインターアクトおよびローターアクトが、続いて1970年代にはロータリー青少年指導者育成プログラム（RYLA）、青少年交換がRIの常設プログラムに加えられました。これら4つのプログラムは現在も世界中で活発に活動しております。

2007年RI会長ウイルキンソンはインターアクト・ローターアクト・RYLA・青少年交換の4つの委員会メンバーを集めて、「RI青少年プログラム合同会議」を開催し、新しい方向性を見出しました。それが「クロス・プロモーション」という概念です。クロス・プロモーションという言葉は、異なるものが提携する事により、それらが活性化し、新たな価値を生み出す事を意味します。すなわち、インターアクト・ローターアクト・RYLA・青少年交換のRI青少年プログラムを連携させて、活性化することにより、青少年達が様々な経験を通じて新しい能力を身につけると共に、ロータリーに対する知識と経験を深めて成長していく、という事を意味します。

2016年度の規定審議会で青少年奉仕のクロス・プロモーションが認められ、ローターアクトクラブにおいて、最大12年間に渡り奉仕プロジェクト等を通じて、ロータリー精神を学んだローターアクターはロータリアンとなる事が認められました。

ロータリーは長年に渡って、青少年への奉仕を行ってきました。毎年30万人を超える青少年が青少年奉仕プログラムに参加しています。しかし残念ながら、どのような団体やプログラムでも虐待の問題が絶対に起こらないとは言えないのが現状です。虐待を防ぎ、虐待が

## ガバナーメッセージ

あった際には直ちに適切な対応を取れるような安全・安心な体制が求められています。RIは青少年保護責任を非常に重大な事として受け止めています。そこでRIは、「青少年と接する際の行動規範に関する声明」を発表し、ロータリアンに青少年の保護を強く求めております。声明には、「RIはロータリー活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するよう努める。ロータリアンその配偶者、その他のボランティアは、児童及び青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待から彼らの身の安全を守るため、最善を尽くす責任がある」と記述されています。

RI青少年交換プログラムはRI事務総長の監督下にあります。青少年交換を実施する為には、地区認定プログラムを維持する事、そして地区の青少年奉仕プログラムにおいて青少年保護、学生の支援、その他に関する指針を採用しているという証拠をRIに提出する事が義務付けられています。また、クラブと地区の青少年交換プログラムはRIの性的虐待およびハラスメント防止に関する方針、およびその他の要件を遵守しなければならない。またこの認定を取るためには、地区の法人化と賠償責任保険の加入が必要です。

現在、青少年交換プログラムは5年に1回の認定を受けており、34地区が個別に実施しております。ここで、34地区が一緒になり窓口を1つにする事が多地区合同化です。これにより青少年交換手続きが簡素化され、日本全体の連絡網も確立し、そして賠償責任保険契約者が明確になります。地区では今まで通りに各地区でプログラムを立案して頂き、地区ガバナーの職務権限は一切変更ありません。先日、各クラブに国際ロータリー日本青少年交換委員会が多地区合同奉仕活動であることを承認する件でお諮り致しました。結果として第2550地区は承認を戴きました（放棄1クラブ）。日本全体では31クラブ承認（未着3地区）の結果を得ており、これにより賠償責任保険加入も可能となります。皆様の御協力に深く感謝申し上げます。

今般、那須岳において高校生の痛ましい事故が発生し、先の地区研修・協議会においてロータリアン全員で謹んで哀悼の意を表しました。青少年と深く係わるロータリーにおきましても他人事では無く、当地区の危機管理委員会もその活動について検討に入りました。

ロータリーの青少年奉仕プログラムは、まさにロータリーの未来への投資です。地域の青少年が善良で健全な市民として成長して指導者となった時、彼らがまた将来の世代に対する奉仕活動に関わっていく事を私たちは願っております。

## 米山奨学生

# 2017学年度米山奨学生・米山カウンセラー オリエンテーション

地区米山記念奨学会委員会 米山学友委員 小林 正明(宇都宮東RC)

春の陽気に恵まれた4月16日、ホテルニューイタヤに於いて恒例の米山奨学生と米山カウンセラーの顔合わせを兼ねたオリエンテーションが開催されました。

今年は、ベトナム・タイ・中国・スリランカ・ラオス・モンゴル・ネパール・セネガルから18名の新しい米山奨学生と、18名のカウンセラーが集い、栃木ガバナーと太城ガバナーエレクトを迎え、終始和やかに進行了しました。

栃木ガバナーから米山奨学事業の概要を、意義について飯村慎一地区米山記念奨学会カウンセラーよりお話しいただき、奨学生とカウンセラーの紹介で初めて、それぞれが対面しました。引き続き奨学期間の遵守事項等のレクチャーが行われ、奨学生もカウンセラーも真剣な表情で耳を傾けていました。

この後、奨学生は隣室で必要書類への説明と署名を行い、初めての奨学金が支給されました。オリエンテーション終了後は別室にて懇親会がおこなわれました。奨学生とカウンセラーが隣り合って座ると、自然な雰囲気での会話が弾みました。食事を摂りながら懇親に時間を忘れるほどでしたが、奨学生とカウンセラーの自己紹介でますます会場は和やかな雰囲気に包まれました。自己紹介に続いて、北関東学友会(栃木)の役員紹介と年間スケジュールの案内が行われ、懇親会もお開きとなりました。会場では名残惜しい空気でしたが、それぞれ例会場や研修会での再会を楽しみに帰路に着きました。

奨学生とカウンセラーは新しい年度を迎えましたが、米山奨学会への寄付はラストスパートの時期となりました。どうぞ、この意義深い米山記念奨学会事業へのご理解を賜り、お志を戴き多くの米山奨学生を支援出来ます様に、皆様のご協力を改めてお願い致します。



インターシティミーティング実施報告

## 第8グループ インターシティミーティング

### テーマ(ロータリーを学び、ロータリーを楽しもう)

第8グループ ガバナー補佐 宮田 進(足利わたらせRC)

インターシティミーティングを足利市ニューミヤコホテル本館にて第8グループ内4クラブ86名の参加を頂き開催いたしました。

第1部の本会議は栃木秀麿ガバナー、吉川良雄第9グループガバナー補佐をお迎えして、各クラブ会長による活動報告を発表して頂きました。

クラブの奉仕活動報告では、地域のために何をすれば良いかを良く理解し、各クラブが真剣に奉仕活動に取り組み努力をしておられる事をひしひしと感じる事が出来ました。

第2部の記念講演会では、「わたしのロータリー：サービスの理念」をテーマに鈴木宏バストガバナー(宇都宮北ロータリークラブ)を講師にお招きして、新入会員研修セミナーを兼ねて、約1時間30分講演して頂き、ロータリーの原点に戻りロータリーを学ぶ事が出来たと思います。

第3部の懇親会では市内在住の高校生演歌歌手、堀優衣さん(あしかが輝き大使)をゲストに迎え、一緒にクラブ対抗歌合戦を行いながら全員で楽しむ事が出来たと思います。

最後に、すべてをとりまとめて頂いた真尾進一実行委員長はじめ、足利わたらせロータリークラブ会員の皆様に感謝申し上げます。



インターシティミーティング実施報告

「わたしのロータリー:サービスの理念」



地区研修リーダー 鈴木 宏 (宇都宮北RC)

本日は、RID2550 第8グループのIMにお声を掛けていただき感謝申し上げます。

ロータリーに対します「思い」は、一人ひとり違うと思っています。今日は、「わたしが思うロータリー」の話させていただきます。

私たちロータリアンがこのように集う訳は、“Object of Rotary” すなわち「ロータリーの目的」を実現する為です。改めて、それは “the ideal of Service as a basis of worthy enterprise” を唯一の目的として参加しています。



この「サービスの理念」を身に着けるための「2分類法」とは?

そして、2016年度規定審議会の結果を見てもお分かりのことと存じますが、世界のロータリーの画一的運営は綻びつつあります。地域・地区のクラブの運営裁量権が少しずつ拡大されてきています。

ロータリーは、「町のどこにでもあるボランティア団体」ではないと思っています。私たちは、今こそ「ロータリーは自己研鑽の場」という要素を意識すべき時なのかもしれません。

Rotary  
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター  
NEWS

2017年5月号

発行：Zones 1 & 2 & 3  
ロータリーコーディネーター  
ロータリー公共イメージコーディネーター  
今月号の担当 Zone 2 RC

■会員基盤向上に資する「ロータリー公共イメージ向上」について

さる3月27,28の両日東京で開催されたRI第1,2,3ゾーン会員基盤向上セミナーでは標記演題について各地の公共イメージコーディネーター関係者数名がそれぞれの切り口から持論を大変熱く語られ、とても印象的で貴重な時間を過ごすことが出来た。RIはロータリー発展のため戦略計画を大々的に取り入れるよう推奨し、その東ねた3本の矢の内の一つである公共イメージ向上も特別に力を入れている。戦略計画の最終ゴールは何よりもクラブの発展、そして会員増強であり、その為のイメージ向上は必須であり、それを活かさねばならないと説いている。

112年前シカゴの街で4人の青年実業家が集まりロータリークラブを創立し、それが現在会員数120万人を超える世界的巨大組織に成長した。その要因はロータリーが常に内外への広報宣伝活動を効果的に継続して来たこと、そしてどの時代にもロータリー会員自ら日頃の理念に沿った職業奉仕を行い、世界中の各クラブが長年実施して来た質の高い奉仕活動を地域が世界が認知して来たからではないか。ここで先日のセミナーでの発表を参考にしながら今後の広報展開を如何になすべきかを考えてみたい。

・地区レベルで、

地区はクラブにロータリーのイメージ向上に繋がる情報を提供すべきである。例えばクラブ奉仕活動への取材活動を地区が代わってマスコミに申し入れる、クラブセントラルから情報収集を奨励する、地区へのBox投稿依頼を強く勧めている。特にIT、中でも各種SNSを駆使した映像による積極的発表、投稿は若い世代に強くアピールするだろう。一例として、第2670地区前田直俊ガバナー監修によるアニメ「おしえてロータリー」は日本語、英語版があり、FB、YouTube、DVD等を通して誰でも鑑賞可能。これらは広く地域社会でロータリーの啓発活動や、ロータリークラブ新入会員の研修にも役立つすぐれた教材である。(第1図参照)

・クラブレベルで、

会員が汗を流し、地域のために良い事をした事実をマスコミが取材し、のちにマスメディアに載ることはとても立派な業績であり、ロータリーを社会に理解して貰える千載一遇の良い機会です。ここに第2690地区玉島RCと米子4RCの奉仕活動が新聞記事になった例を紹介する。なお、この記事は現在RIのBoxに収めてあります。各クラブでとても簡単に操作できるBoxを利用し、活用して下さい。(第2図・第3図参照)

・ロータリアン個人レベルで、

忘れてならないのは、会員各自が果たして来た長年の「くちコミ作戦と真摯な奉仕活動」こそロータリー発展の最大貢献者であり、今後戦略計画実施への大きなヒントになると確信する。色々な意味で直接対面での意思疎通は何事にも変えがたいお金のかからない広報宣伝戦略であろう。(第3ゾーンARPIC 伊藤文利倉吉RC)

■クラブ数 会員数

Zone1	829クラブ	28,680名
Zone2	652クラブ	28,158名
Zone3	790クラブ	32,745名
合計	2,271クラブ	89,583名

2017年4月10日現在のRotary Club Centralのデータによります。第2ゾーンの数値にはGUAM, MICRONESIA, NORTHERN MARIANAS, PALAUが含まれます。

■BOX登録件数

187件 (1.2.3ゾーン合計)  
2017年4月10日現在



おしえてロータリー

第1図

Kurashiki - Soga  
**倉敷・総社圏版**

**災害発生 どう対応** 玉島など中学生30人と  
炊き出し、搬送訓練

倉敷市玉島地区の中学生が学ぶ「災害ボランティアグループ」研究会が2日、同市玉島八幡の玉島消防署で開かれた。玉島東、西、北、船中の中の4中学校から30人が参加。災害に備え、炊き出しや搬送訓練などを行った。

炊き出し訓練では豚汁に塩かき、木ぎれを使って大鍋に湯を沸かす班、タマネギや肉など具材の下ごしらえ班に分かれて作業。出来上がった豚汁を味わった。消防署員からAED(自動体外式除細動器)の使い方や人工呼吸といった救命講習を受け、毛布を使って担架を作り搬送する練習もした。玉島北中3年植田直人さん(15)は「研修したことは、いざというときに役に立ってほしい。ボランティアもいろいろやってみたい」と話していた。

研修後は、玉島ロータリークラブ(今

第2図

米子の4ロータリークラブ  
金沢翔子さんの書  
全日空ホテルに寄贈

ダウン症の書家・金沢翔子さん(31)東京都在住が米子市内のロータリークラブ(RC)のために筆を執った書の披露が18日、同市久米町の米子全日空ホテルであった。書の購入代金は、国際組織のロータリー財団がボリオ撲滅のために使う。

昨秋、境港市などで開かれたRCの地区大会で金沢さんが揮毫した。縦1・9尺、横1・1尺の和紙に大筆で書いた「夢」は、チャリティオークションで米子市内のRC4団体が共同で購入した。「鶴」と書かれた作品は、米子RC所属の広江智恵和会理事長が購入し、運営する施設で展示する。2作品の代金計150万円はワクチンの費用などに充てられるという。

「夢」は、RCの例会などで利用する同ホテルに寄贈された。作品が掲げられた1階ロビーで開かれた式典にはRC関係者約20人が出席。勢いを感じさせる筆遣いの書に拍手がわいた。

地区大会で代表者に当たるガバナーを務めた庄司尚史(第2期)前代表社長は「書を見るたびに、ボリオ撲滅への意識を高めてほしい」と話した。(除山馬志)

第3図

この書は第2690地区米子市内4RCが市民に末永く鑑賞してもらうために共同購入したものである。





## 2017学年度新奨学生オリエンテーションがスタート

2017学年度の奨学生は795人となりました。新規採用者が615人、継続者が180人です(4月10日現在)。国・地域別にみると、中国が39.5%、次いでベトナム13.8%、韓国11.9%、台湾5.0%の順となっています。ベトナムは2009学年度以降、台湾を抜いて3番目に奨学生数の多い国として著しく増加していましたが、今年は、韓国を抜いて2番目に多い割合を占めています。プログラム別では、学部・修士・博士課程ロータリー米山記念奨学金が747人(学部課程:292人、修士課程:265人、博士課程:190人)、地区奨励奨学金15人、クラブ支援奨学金2人、海外学友会推薦奨学金6人、海外応募者対象奨学金25人となっています。

4月～5月にかけて各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは初めて学生とカウンセラーが出会う場であり、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かくお迎えくださいますようお願いいたします。

### 米山梅吉記念館便り

#### シリーズ⑨ 米山梅吉の横顔

米山梅吉の青山学院への奉仕は大正5年頃には既に見られますが、何と言っても青山学院初等科の創立で、米山の、整備拡充よりも初等教育の充実を重視する教育論の実践でした。昭和12年に竣工した校舎は全額私財を投じて建設されたもので一切の寄付は仰ぎませんでした。学院が直営の予定でしたが許可が難航し、青山学院小学財団を



青山学院緑岡初等学校正門と校舎

設立、同財団立「緑岡小学校」として発足しました。男女25名づつが入学し、初代校長は米山でした。経営方針は7条あって、「学校後援会、保護者会等の支援団体は認めない」「児童の教育は学校の手によって行う。学校を信じて委ねたい」「人にされて嬉しかったことを人にもせよ」等でした。



記念館の月桂樹前にポール・ハリス植樹レリーフを設置  
昭和10年来日の折、ポール・ハリスが月桂樹を帝国ホテル前庭にお手植えし、記念館にはその2世が植えられています。

#### 公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1  
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101  
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>  
Email: [yumh@ai.tnc.ne.jp](mailto:yumh@ai.tnc.ne.jp)  
[開館時間] 午前10時～午後4時  
[休館日] 月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



#### 米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌  
本文268ページ/2,500円

#### 米山梅吉の登音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。

クラブからの奉仕活動報告

ロータリー文庫の贈呈式

烏山ロータリークラブ

烏山ロータリークラブでは、地域社会奉仕の一環として、那須烏山市の図書館に図書を贈る活動を進めてきました。創立50周年記念の2010年からは、ロータリー文庫として、南那須図書館、烏山図書館に大型の幼児用絵本を毎年寄贈してきました。この絵本は、お母さん方がお子様に読み聞かせ用に貸し出され、大変喜ばれています。そして、2016年から、雑誌スポンサー制度への参加を進めています。毎月発行される幼児用の絵本を2つの図書館に提供し、そのブックカバーに「烏山ロータリークラブ」のロゴを入れたもので、ロータリークラブの広報活動となっています。

4月の第1例会には、図書館長さんに出席してもらい本年度の贈呈式を行いました。館長さんから、雑誌スポンサー制度、図書館の現状等についての卓話をいただきました。

会員一同、烏山ロータリークラブの活動として引き続き図書館の活動を支援していくことを確認いたしました。



新入会員紹介



いた ばし さとる  
**板橋 智**  
小山北RC  
伊藤商事(株)  
代表取締役  
平成29年2月1日入会

会の発展の為に努力して参ります。



さが ら よし お  
**相良吉男**  
岩舟RC  
(有)サガラ陶管  
代表取締役  
平成29年3月1日入会

ロータリーを通じて人の輪(和)が広げられればと思います。



きた やま たかし  
**北山 隆**  
鹿沼中央RC  
割烹 きたやま  
店主  
平成29年3月1日入会

皆様のご指導のもと、地域社会に貢献できるよう努力したいと思います。



うすき たか あき  
**薄 孝明**  
黒磯RC  
(株)栃木銀行  
黒磯支店・支店長  
平成29年3月30日入会

地域社会に貢献できるよう奉仕の精神で頑張ります。



みつぎ じゅん  
**三木 純**  
宇都宮西RC  
(株)三木総合保険事務所  
代表取締役  
平成29年3月30日入会

伝統あるクラブの先輩方から沢山の事を学ばさせて頂きたいと思ひます。



ふる かわ くに お  
**古川 邦男**  
壬生RC  
(株)壬生自動車学校  
校長  
平成29年4月5日入会

まず第一歩として地域に奉仕したいと思ひます。



さ とう かつ ひこ  
**佐藤 克彦**  
日光RC  
(株)足利銀行  
日光支店 支店長  
平成29年4月6日入会

微力ながら奉仕の精神で地域に貢献してまいります。宜しくお願い致します。

退会者

所属クラブ	氏名	退会年月日
小山南RC	山本 郁夫	平成28年12月30日
小山RC	吉田 直生	平成29年2月1日
真岡西RC	中島 盛二	平成29年2月7日
高根沢RC	神柱 博之	平成29年2月28日
小山RC	大木 健男	平成29年3月9日
氏家RC	森 啓介	平成29年3月30日
西那須野RC	石岡 克彦	平成29年3月31日
宇都宮西RC	本多 将之	平成29年3月31日
宇都宮陽東RC	福田 達也	平成29年3月31日
真岡西RC	久保田 学	平成29年3月31日
足利RC	宮崎 務	平成29年3月31日
足利東RC	中野 佐平	平成29年3月31日
足利東RC	須永 幸彦	平成29年3月31日
佐野RC	田尻 弘和	平成29年3月31日
佐野RC	島田 政美	平成29年3月31日

## 第2550地区 3月会員増強・出席報告

分 区	クラブ名	例 回数	出席率		会 員 数									
			今月	平均	7月	今月	入会	退会	通産増	通産減	増減	内女性		
第1グループ	大田原	5	82.40	85.43	27	29	0	0	2	0	2	1		
	黒磯	4	93.10	97.13	36	38	0	0	2	0	2	2		
	西那須野	3	93.15	95.06	40	40	0	1	4	4	0	2		
	黒羽	4	91.67	92.56	10	9	0	0	0	1	-1	0		
	那須	3	80.00	74.05	8	8	0	0	0	0	0	2		
	塩原	5	66.67	69.75	9	9	0	0	0	0	0	3		
	大田原中央	4	79.55	75.50	23	22	0	0	0	1	-1	1		
第2グループ	烏山	4	90.00	89.59	14	15	0	0	1	0	1	1		
	氏家	5	82.86	79.36	22	21	0	1	1	2	-1	0		
	矢板	4	64.00	69.29	16	16	0	0	0	0	0	3		
第3グループA	馬頭小川	4	84.25	89.39	21	22	0	0	1	0	1	0		
	高根沢	4	80.20	83.64	15	15	0	1	2	2	0	0		
	宇都宮	3	61.30	65.20	103	103	0	5	6	6	0	1		
	宇都宮西	5	82.41	82.29	74	76	1	1	6	4	2	0		
第3グループB	宇都宮北	4	58.50	72.76	49	50	0	0	2	1	1	0		
	宇都宮90	3	90.37	89.59	42	45	0	0	3	0	3	3		
	宇都宮陽北	4	71.34	77.92	34	35	0	0	1	0	1	3		
	宇都宮東	4	89.68	90.12	116	120	0	0	6	2	4	0		
	宇都宮南	5	70.81	81.40	51	51	0	0	2	2	0	1		
第4グループ	宇都宮陽東	4	70.30	81.46	47	49	0	1	3	1	2	6		
	宇都宮陽南	5	84.21	82.94	22	22	0	0	0	0	0	5		
	宇都宮さつき	3	66.67	72.86	23	25	1	0	2	0	2	2		
第5グループ	真岡	5	90.46	91.75	52	52	0	0	2	2	0	0		
	益子	5	87.30	93.60	29	35	0	0	6	0	6	3		
	真岡西	4	81.76	90.84	38	37	1	0	1	2	-1	5		
	しもつけ	4	87.05	90.05	33	31	0	0	0	2	-2	7		
	51RC		81.37	83.47	1710	1738	8	17	88	60	28	94		

### 地区内主要行事

- 5月13日(土) 宇都宮西ロータリークラブ 55周年記念式典 宇都宮グランドホテル
- // 14日(日) クラブセントラル講習会 宇都宮グランドホテル
- // 14日(日) 矢板ロータリークラブ50周年記念式典 アローエースゴルフクラブ
- 20日(土)
- // 21日(日) ローターアクト関東ブロック研修会 コンセーレ
- // 28日(日) 高校生 RYLA セミナー 宇都宮共和大学 シティキャンパス
- // 28日(日) 2017-18年度 地区会員増強セミナー 宇都宮グランドホテル
- 6月 4日(日) 青少年交換オリエンテーション ホテルニューイタヤ
- // 18日(日) 米山2017年度 第1回地区委員会 ホテルニューイタヤ
- 米山奨学生卓話研修会

# 文庫通信

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

355号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## ロータリー情報

- ◎日本の出番、祖国は甦る 青山繁晴 D.2680 地区大会記録誌 2016 1P
- ◎世界の中の日本 五百旗頭真 第44回ロータリー研究会報告書 2016 9P
- ◎日本のこころ 松長有慶 D.2660 地区大会記録書 2015 7P
- ◎職業奉仕の今日的課題と永続企業 パネラー：前川洋一郎・山本泰人・中川雅雄
- ◎D.2580 地区大会記念誌 2016 6P
- ◎21世紀をどう生きるか 安平和彦 D.2670・D.2680 第38回 RYLA 報告書〔2016〕15P
- ◎現代家族の課題 白石大介 D.2670・D.2680 第38回 RYLA 報告書〔2016〕12P
- ◎ダウン症の娘と共に生きて 金澤泰子 D.2690 地区大会記念誌 2017 6P
- ◎夢に向かって 根木慎志 D.2750 第36回インターアクト年次大会報告書 2016 7P
- ◎若者の未来のためにできること 養老孟司 D.2660 地区大会記録書 2015 11P
- ◎父が見つけてくれたもの 小林真 奉仕のともしびを高く掲げて 2011 6P

[上記申込先:ロータリー文庫]

## ロータリー文庫

〒105-0011  
東京都港区芝公園2-6-15  
黒龍芝公園ビル3F  
TEL 03-3433-6456  
FAX 03-3459-7506  
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時~午後5時  
休館=土・日・祝祭日

## ロータリーの友<sup>®</sup> 5月号 地区情報及び読みどころ

5月は青少年奉仕月間です

- P3 RI 会長メッセージ  
アトランタでお会いしましょう!<sup>®</sup>
- P7 特集 若者のリーダーシップを養成  
RYLA ロータリー青少年指導者養成プログラム
- P14 過去から今、そして未来へ  
インターアクター②  
第2550地区・文星芸術大学附属高校 IAC・  
宇都宮文星なでしこ IAC
- P21 ロータリー財団学友が国連事務次長に
- P22 寄付金の流れ・寄付金が活かされるまで<sup>®</sup>
- P48 ロータリー・アット・ワーク (文章編)  
タイの小学校に図書館を寄贈 しもつけ RC
- P73 上杉鷹山の訓え  
(学)九里学園高校教諭 遠藤 英

## 今月号の論語

子曰わく、古、言を出さざればなり。  
 ざるは、躬の速ばざるを恥ず

(通釈)孔子が言った。古の人が、軽々しく言葉を口に出さなかつたのは、自分の行為が、言葉におよばないことを恥じとしたからである。

(論語抄より抜粋)

## ガバナー月信への記事掲載を募集

掲載して頂けるクラブがありましたら原稿及び写真などをガバナー事務所まで送付してください。



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒320-0826 宇都宮市西原町142

宇都宮グランドホテル内

TEL028-651-2550 FAX028-651-2551

E-mail [m2550@agate.plala.or.jp](mailto:m2550@agate.plala.or.jp) URL:[www.rid2550.com/](http://www.rid2550.com/)